

# 訓練で摂食嚥下機能を回復

「おばあさんの入れ歯の調子が悪くて食事ができない。どついたら良いでしょうか」

自宅で母親を介護している娘さんからの相談です。

現在、要介護認定を受けている高齢者は450万人以上です。施設や在宅で療養している高齢者は、病院や歯科医院に通うことが困難です。このような方々のため、訪問歯科診療が行われています。

訪問歯科診療を行う際、まず介護者、担当医師、訪問看護師、ケアマネジャーに連絡し、患者さんの全身的な状態を把握します。介護を必要とする高齢者（要介護高齢者）は、認知症や脳卒中、骨折、心臓疾患の方が多く、歯磨きや入れ歯の管理といった口腔

ケアや治療が十分されていないケースが多いです。

介護者の口腔ケアに対する関心が低いと、要介護高齢者への口腔ケアがさらに軽視されがちです。食べかすが口の

食べかすやバクテリアなどが混じり合ってきたものが厚くなったりしています。

口腔乾燥が激しい場合、口腔の粘膜がかさぶたのようになり、そこに食べかすなどが付着していることもあり、これは口臭の大きな原因になります。また、口腔内に常在するカンジダ菌が異常繁殖して起こる口腔カンジダ症

になっていくケースも多と考えられ、舌痛症や味覚障害が出てくることもあります。

訪問歯科診療では、歯磨き、軽度の虫歯治療、簡単な抜歯、入れ歯の修理や作製をします。口腔ケアをすることで、強い口臭や口腔乾燥を軽減させ、口腔内の痛みや歯茎からの出血を防止します。

よく観察してください。

摂食嚥下機能の低下は、誤嚥性肺炎を引き起こすことが知られています。このような患者さんには、咀嚼の際に働く筋肉や、口の周りの筋肉のマッサージ、舌を前後左右に動かす訓練、また発音訓練などを受けてもらうことがあります。



①口腔ケアをする前。かさぶたのようになった粘膜に食べかすがついている②訪問歯科衛生士による口腔ケアで清潔になった口腔内

訪問歯科診療を希望する場合は、かかりつけ歯科医院に相談するか、地域の歯科医師会に連絡すれば医療機関を紹介してもらえます。

（大規模老人 三田市・大槻歯科医院院長、大阪歯科大非常勤講師、高齢者歯科学）